

施策情報のグループ共有化

①情報連携の取組み(EDI化の推進、UI/UXの取組み、IT推進の取組み)について

	西濃運輸	遠州西濃	伊豆西濃	丸久運輸
現状 (状況及び、課題)	<p>【EDI化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EDI化率 95.5% <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存大手荷主への導入交渉に難航 	<p>【EDI化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KM II 導入で、お客様&当社双方の作業効率化 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客様のシステムとKM II が連携できず導入を断念 orシステム改良の為の導入コストが理由でEDI化率が70%弱 	<p>【EDI化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EDI化率 80%未満 新規荷主へのKM II 導入率は90% <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存大口荷主への導入遅れ顧客独自システム利用によるシステム改修費用が掛かる 	<p>【EDI化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倉庫に荷積みに来た車両の状況把握の強化 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倉庫に荷積み待機をしている車両の状況が把握できていない、長時間の待ち時間が発生している時がある
新たな取組み (課題解決策)	<ul style="list-style-type: none"> ・SISとの帯同渉外を増やし、お客様の作業動線を変更することなく、利便性向上を図る提案を行なう 	<ul style="list-style-type: none"> ・KM II 導入に難色を示しているお客様に対して、セイノ-情報との同行営業で解決策を探る 	<ul style="list-style-type: none"> ・12月よりKM II 利用におけるメリットを案内しながらお願いをしております 導入費用は運賃改定値上げ率を下げることで理解を求めています 	<ul style="list-style-type: none"> ・倉庫にカメラを設置して、倉庫間及び本社で映像をリアルタイムで見ることが可能となり、その状況に応じて作業応援に入る
効果・実績について	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟支店成功事例 店所長・SISによる帯同渉外にて、お客様のPain(お客様の仕組み上で複数のログインが出来ない仕様)、KM2では可能な担当者毎にID割り振ること(8名)を提案 →導入により、お客様の動線は変わらず、複数登録することを可能にし、送り状発行時間短縮と出荷実績、追跡管理など業務効率アップに貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ・TGの中で一番出荷件数の多いお客様(約2000件/月)のEDI化が進行中→SISにてソフト開発4~5月運用開始(導入コスト86万) ドライバーの作業時間72分→14分 事務所の伝票作業時間18分→4分 合計 90分 → 18分 72分/日の作業時間短縮 	<ul style="list-style-type: none"> ・KM II の大口荷主導入 3月スタートで2件 4月スタートで2件 	<ul style="list-style-type: none"> ・荷積み車両の待ち時間の低減 待ち時間 1週間平均(閑散期)30分→20分
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様の真のPainまで到達することで、Gainに変わる提案が出来た 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業時間削減の費用対効果が大手荷主ほど大きい →SISと連携し、客先システムで導入を見送っているTGのEDI化をより進めていきます 	<ul style="list-style-type: none"> ・KM II を導入することでマイセイノ-各種メニューの利便性をセットで案内したこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・閑散期で35%の待ち時間削減効果があった ・この取組みに追加して、車両予約システムの検討に入り、更なる待機時間削減を進めていくことで、2024問題への対応を図ります